

山形市水道の歴史を知る貴重な史料

写真の冊子は、大正期の水道創設にかかわって刊行されたものである。写真左は水野廣治氏が大正3年（1914年）8月25日に自費出版したもので、表紙には市内の勾配高低を表すグラフにより水源地を描き、序文と本文、附録の3編構成で水道の有利性を丁寧に解説している。水野氏は当時1,000部を発行し、その後の山形市水道実現の大きな原動力となった。

配布に際し添えられた書簡には「市将来に於ける発達の為、公衆衛生及び火災予防上最も重要なる上下水道設備の未だ成さざるは甚だ遺憾とす。…(中略)…市将来の為施設の急務なるを御認められ候得ば、振（ふれ）て市の世論を挙げ、一日も速に本事業の成立を希望の至りに不堪候。」と著わされており、水道実現に対する水野氏の並々ならぬ抱負と意気込みが感じ取れる。写真右は大正12年5月4日の山形市水道の全市通水が実現した機会に山形市が刊行した「山形市水道略誌」である。これは市民の水道に対する認識を深めようとして刊行されたものである。その内容は水道創設の沿革をはじめ、予定人口と給水量、水源、浄水場、配水管布設など工事内容を含み、工事予算や水質試験成績、補助金や公債発行に至るまで詳細な内容となっている。

現在、山形市上下水道部には「山形市地下水道編」「山形市水道略誌」の2冊が原本で保管されており、山形市の水道通水当時を知る貴重な資料となっている。

歴代水道事業（上下水道事業）管理者

代	氏名	任期	備考
初代	丹野 八郎	昭和34年4月 ~ 昭和38年1月	
2代	茂木 弘	昭和38年1月 ~ 昭和41年9月	
3代	長橋 勝義	昭和41年9月 ~ 昭和41年12月	
4代	佐々木 源治	昭和42年1月 ~ 昭和48年11月	
5代	佐藤 正男	昭和48年11月 ~ 昭和54年9月	
6代	佐藤 幸次郎	昭和54年9月 ~ 昭和62年12月	
7代	太田 貞雄	昭和63年4月 ~ 平成4年3月	
8代	阿部 勇蔵	平成4年4月 ~ 平成8年3月	
9代	梅津 久勇	平成8年4月 ~ 平成12年3月	
10代	市川 昭男	平成12年4月 ~ 平成12年9月 ※平成13年3月まで水道部長が管理者職務代理者	市助役就任
11代	伊藤 光一郎	平成13年4月 ~ 平成16年3月	
12代	岡崎 教雄	平成16年4月 ~ 平成20年3月	
13代	芳賀 賢二	平成20年4月 ~ 平成22年3月	
14代	瀧井 潤	平成22年4月 ~ 平成23年12月 ※平成24年3月まで水道部長が管理者職務代理者	副市長就任
15代	長谷川 博一	平成24年4月 ~ 令和2年3月	
16代	庄司 新一	令和2年4月 ~	



写真で綴る水道100年

山形市水道測量記念 大正4年9月9日（前列左から3番目が水野廣治氏）



水源地地鎮祭 大正7年10月（現松原浄水場内）

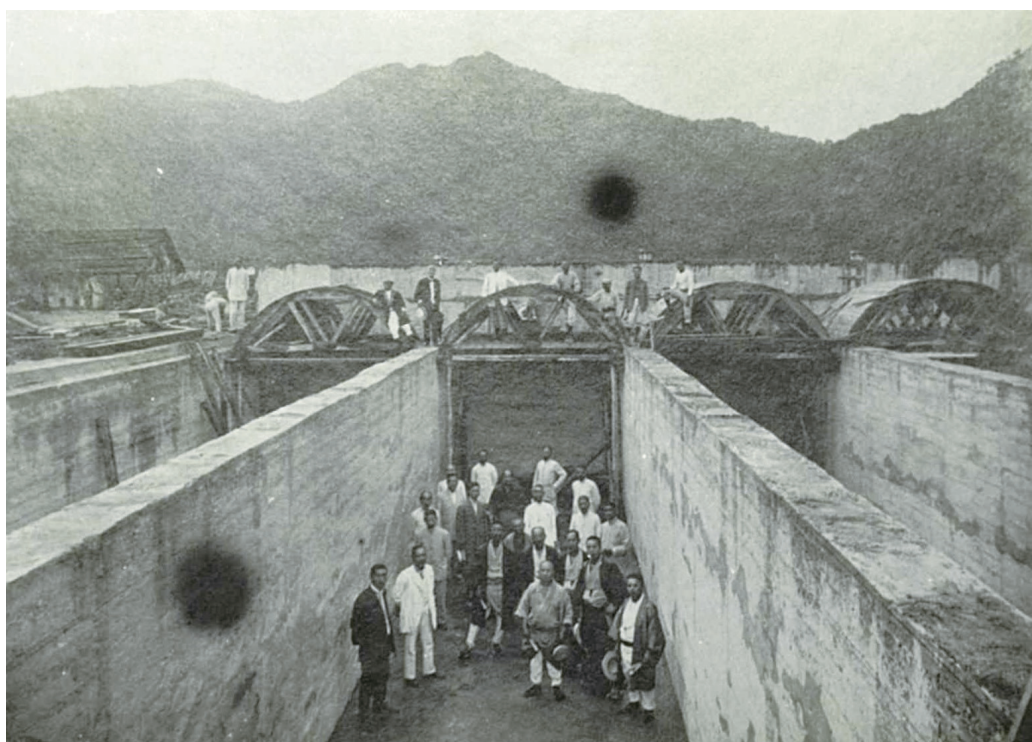


●●● 写真で綴る水道100年

配水池の工事（現松原配水場）大正8年～9年 市会議員一行貯水池視察



配水池の工事（現松原配水場高区配水池）大正8年～9年 市会議員一行視察



水道主管埋立地鎮祭 大正7年頃



配水池の工事（現松原配水場）大正10年～11年頃



●●● 写真で綴る水道100年

松原浄水場 水道管布設工事 大正9年頃～昭和初期



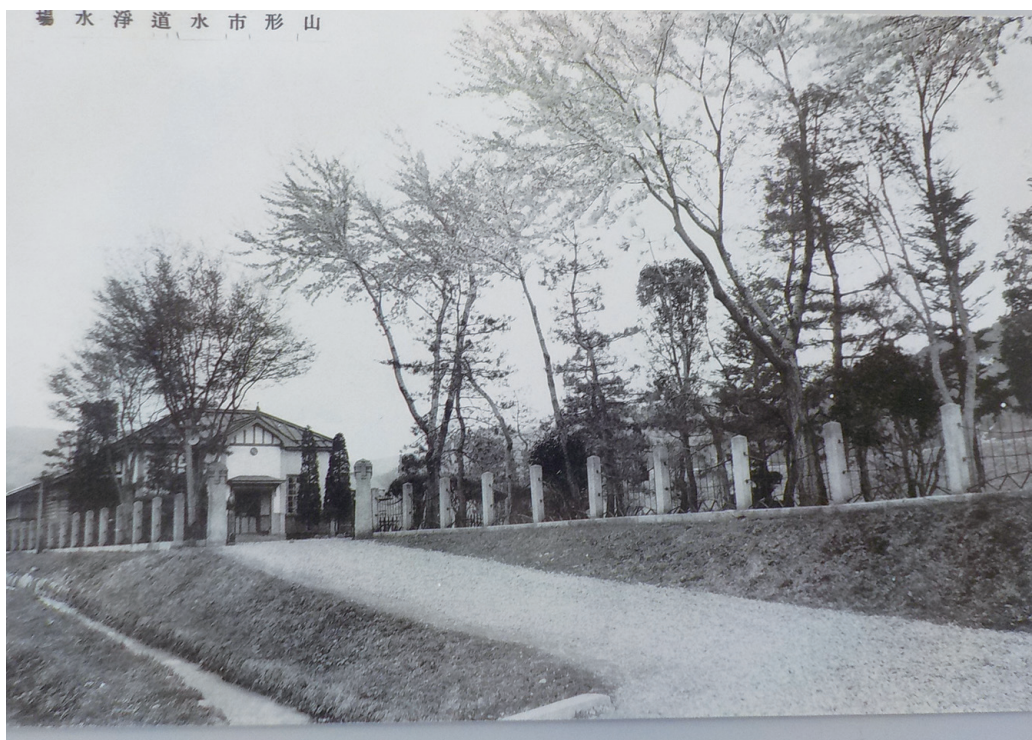
第二配水場完成記念 伏流水排砂池前（現松原配水場） 大正12年頃



山形市水道通水祝賀会 大正12年5月4日 於：県会議事堂前広場



山形市水道浄水場（通水後の絵葉書より）



●●● 写真で綴る水道100年

山形市水道水源地（通水後の絵葉書より）写真右奥に水分神社が祀られていることがわかる。



山形市水道水源拡張工事（松原浄水場緩速ろ過池工事） 大正15年10月24日



山形市講和記念植樹（講和条約締結記念 水源涵養林植樹）昭和27年



第一次拡張工事（昭和28年～昭和34年）不動沢ダム建設

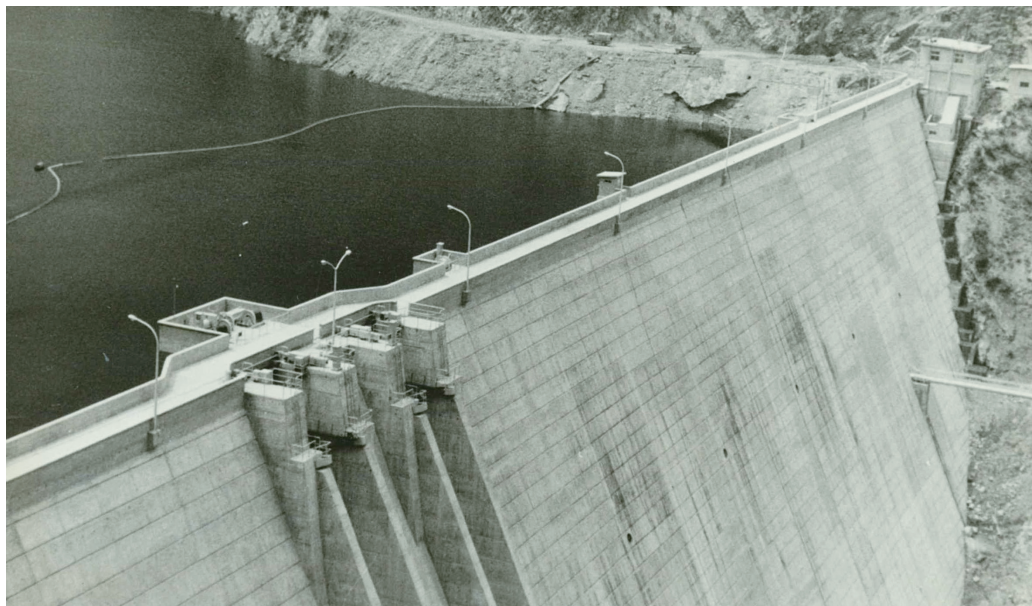
昭和26年、不動沢に山形県営砂防堰堤の上に市費で2mの高さを増築して17mの高さとし、ここに45,000m³の貯水をして水道水源とする計画を立てた。



第二次拡張工事（昭和39年～昭和46年）

蔵王ダムは洪水流量調節と灌漑用水の補給、そして水道用水の供給の3つを目的とするダムである。山形県知事と山形市水道事業管理者が共同事業者として建設を進めた。

完成後の蔵王ダム（写真は昭和47年頃の蔵王ダム）



旧松原浄水場管理棟と高速凝集沈殿池（蔵王ダムからの原水を処理する施設）



第三次拡張工事（昭和44年～昭和52年）

見崎浄水場の建設（昭和44年より7ヵ年計画で始まる）

第三次拡張工事では最上川表流水を見崎浄水場に導水して、ポンプ加圧式によって山形市内に給水するものである。



建設中の見崎浄水場

最上川取水場・取水口

最上川の表流水は原水として見崎浄水場に送水される。

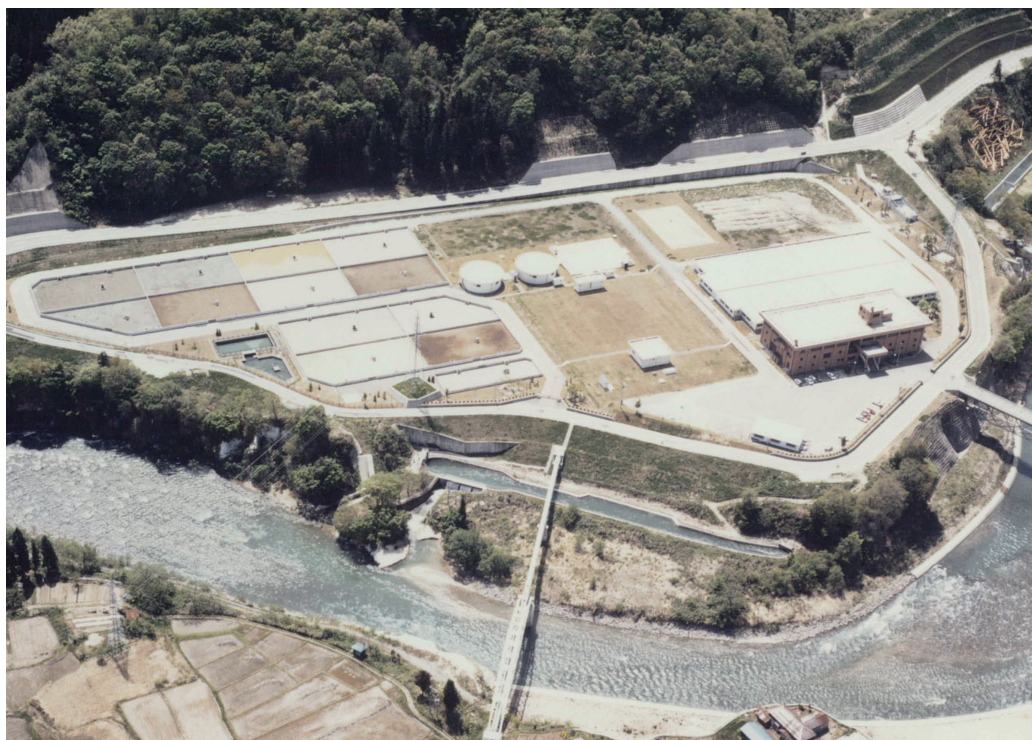


第四次拡張工事（昭和55年～平成元年）

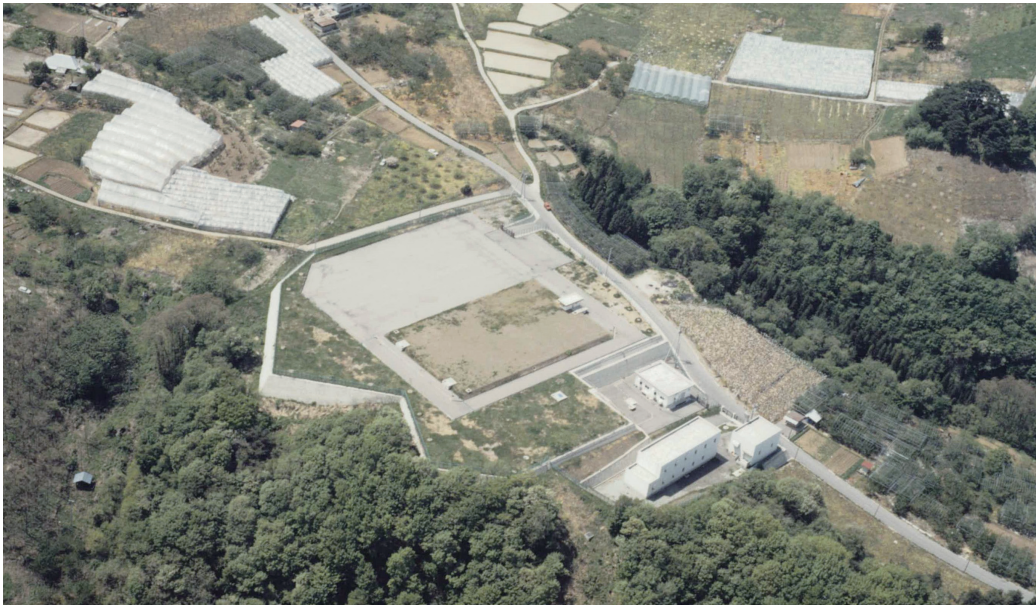
寒河江ダム建設工事（村山広域水道用水供給事業の水源となる）
寒河江ダム工事は昭和47年に着工し、平成2年に竣工している。



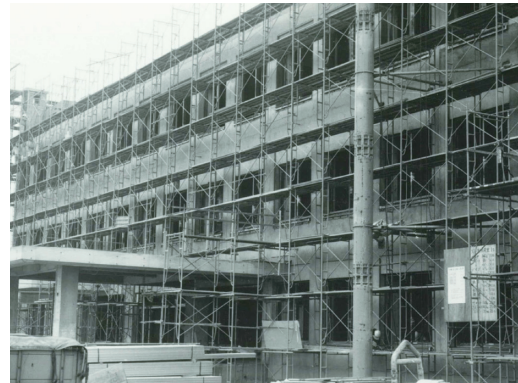
県営村山広域水道西川浄水場（西川町） 村山地区6市6町に水道用水を供給している



南山形配水場（村山広域水道から受水し山形市南部・西部等に配水する）昭和59年完成



水道施設管理センター新築工事（昭和57年3月17日起工式）



現在は「山形市上下水道施設管理センター」となっている。



●●● 写真で綴る水道100年

施設見学（見崎浄水場 第一期工事完成後）昭和50年



水道週間「街頭水道相談」の様子（ジャスコ山形店前）昭和50年



平成4年4月オープン 水道広報展示場「アクア・パーク 屋外アクア・ガーデン」
ジオラマプールは水遊びをしながら、水道の仕組みがわかるように工夫されている。



水道広報展示場「アクア・パーク 屋内アクアロビー」

青色のボールはアクアサウンドツリーで、流れる川の水音を聞くことができる。



見崎浄水場高度浄水処理施設 平成9年完成



松原浄水場新築整備事業 平成13年～平成18年



水道週間看板設置 令和4年

(令和5年度の通水100周年をお知らせするため、令和4年度にスローガンを掲げました)



山形市中央駐車場に横断幕を設置 令和4年



水道通水100周年記念事業

山形市水道通水100周年記念式典



令和5年6月2日（金） 於：ホテルメトロポリタン山形

水道サマーフェスティバル



令和5年7月30日（日） 於：山形市上下水道施設管理センター

施設見学バスツアー（親子対象）

令和5年8月2日（水）

松原浄水場（小水力発電施設） ➡ 松原配水場 ➡ 蔵王ダム ➡ 不動沢取水場



山形市水道事業100年のあゆみ



モニュメント型給水栓（制作：東北芸術工科大学）



水道サマーフェスティバルでお披露目

新給水車納車



展示用マンホール制作



山形市水道通水100周年 水道サマーフェスティバル

開催日：令和5年7月30日（日）

会場：山形市上下水道施設管理センター

100周年記念事業として「水道サマーフェスティバル」を開催しました。平成5年度に通水70周年を記念して開催された「アクア・パークちびっこまつり」以来となるイベントであり、山形市管工事協同組合青年部とヴェオリア・ジェネッツ(株)の協力をいただきました。当日は厳しい暑さの中、約1,500人の親子が来場し、子どもたちの元気な声で各ブースは大いに盛り上がりました。

また、会場では100周年を記念して、東北芸術工科大学の学生に制作を依頼した「モニュメント型給水栓」が初披露されました。この給水栓は「ダム」をモチーフにした造形で、正面の様子は「山形市の風景や自然の豊かさ」をデザインして制作されています。正面上部には「山形市上下水道部のシンボルマーク」が、風景デザインの中には「100周年」「上下水道部」「ANNIVERSARY」の文字が隠されています。制作にあたり山形市管工事協同組合、山形市水道施設工事事業協会、(一財)山形市上下水道技術センターの方々からご支援とご協力をいただきました。

100周年記念「モニュメント型給水栓」披露



子どもたちは興味津々。さっそく色々な角度からモニュメントを見ていました。

恐怖の小便小僧（不規則な動きに大喜び）



噴水危機一髪（当たると水が噴き上がります）



新給水車からの給水体験



スーパーボールすくい



オリジナル缶バッジづくり



水ヨーヨーつり



プール輪投げ



山形市管工事協同組合青年部による水鉄砲工作

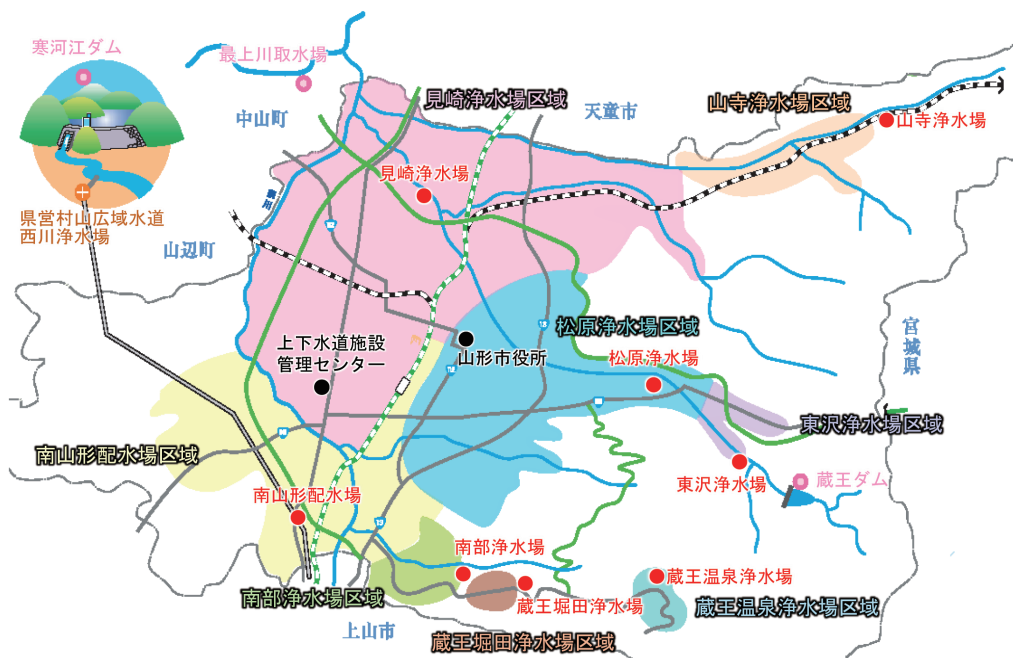


ピエロによる創作風船プレゼント



●●● 山形市浄配水施設・拠点給水所マップ

山形市の浄配水施設と配水区域



山形市の拠点給水所



Googleマップを活用した給水所マップ(右の二次元コードよりアクセス)

